

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等	一				
事業毎の通番		7	市町村名	南箕輪村	箇所名(ふりがな)	田畠(たばた)			
事業概要	事業目的	平成2年～平成3年に簡易法枠工を施工していたが、近年の突発的な豪雨に加え、簡易法枠工の老朽化により平成26年2月に部分的に山腹崩壊が発生した。 また、崩壊箇所以外の簡易法枠工についても老朽化が進み、各所で土砂の中抜け、脚部の著しい侵食がみられ、次期降雨により、再度、崩壊が発生する恐れが高いため、近年の降雨強度の高い豪雨を踏まえた対策工事を施工し、土砂災害の未然防止を図る。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	森林法				
	関連する事業、計画等	南箕輪村地域防災計画							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家11戸、村道L=160m、JR L=60m、用水路L=160m							
	着手年度	平成29年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.72	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容 (主な工種)	山腹工 0.50ha 法枠工 1,530m ² 森林整備 2.10ha			175,000	87,500		87,500	
	年度事業内容 (主な工種)	山腹工 0.10ha 法枠工 520m ² 森林整備 0.10ha			50,000	25,000		25,000	
	事業効果	直接的効果 (定量的・定性的)	法面対策工事により斜面崩壊の危険性を低減し、人家11戸、村道L=160m、JR L=60mの保全を図る。						
		間接的効果 (定量的・定性的)	地域の安全・安心な生活環境の保全や、流域の自然環境の向上を図る。						
評価の視点	必要性	【人家戸数】11戸 【公共施設数】村道、JR 【災害時要援護者関連施設の有無】なし 【保安林・林業用施設】保安林率100%、土流				評価	A		
	重要性	【過去の災害履歴】H26 融雪災 【交通遮断による地域経済への影響】影響大…JR 【地域防災計画上の位置付け】計画登載				評価	A		
	効率性	【費用便益比(B/C)】1.72 【事業期間】事業年数 3年(H27～H29) 【工法等の比較検討】地質調査および概略の工法検討実施 【流域の総合調整】土砂法指定地域であるが保安林であるため治山事業で実施				評価	B		
	緊急性	【流域の地形、地質】第4紀層(礫、砂、段丘)、一部地すべり地形 【平均山腹勾配】45° 【下流の堰堤等の整備状況】なし 【山地灾害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域】A、土砂災害特別警戒区域				評価	A		
	計画熟度	【事業情報の共有】地元区対象に説明済 【地域の取り組み】地域住民、南箕輪村から、建設事務所・林務部に要望 【地域の合意形成】合意形成が図られている 【住民との協働】完工後における立木の維持管理が見込まれる				評価	B		
	部意見	近年の豪雨等による崩壊及び施設の老朽化が進み放置すれば人家等に流出する恐れがあり対策工事を行う必要がある。	行政改革課意見	斜面対策工の老朽化が進み、今後の降雨等により崩落する恐れがあるため、重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	評価結果	○	A	総合評価	

